公共財

1. 非競合且つ非排除
2. 警察、無料放送、国防
3. フリーライダーの登場が問題、特に国の提供している公共財であれば税金支払いを拒否して財政が破綻する。営利のインセンティブを導入すると、安全が確保される人が限られる。

利益追究のために安くサービス提供→質の低下

売り上げ競争が発生→多数のパーテイーの出現、組織の細分化

共有資源

1. 競合性がある＋排除可能性がない＝個人の自由で利用できるがその代償に他の人が利用できる量が減る
2. 綺麗な空気や水（公害問題）、魚、きのこ、牧草地、環境資源
3. 共有財はすべての主体が無償で利用できるオープンアクセスと、財が有限である希少性を性質として持つ。このような財に自由競争が働くと、他者に財を消費されてしまう前になるべく早く、大量に消費してしまおうというインセンティブが働く→資源が減り、枯渇してしまう。あるいは資源奪取競争に勝ち残った人が資源を独占できてしまう。

<https://en.wikipedia.org/wiki/Tragedy_of_the_commons>

共有地の悲劇

<https://en.wikipedia.org/wiki/Overexploitation>

乱獲